

(別紙)

6丁目自治会会員及びRCA会員各位

2021年5月4日

RCA理事長 見瀬賢悟

RCAの位置づけと活動内容について

日頃より緑園都市コミュニティ協会（RCA）の活動にご理解ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

このたびRCA会員の皆様に、改めてRCAのご理解を深めていただくために、その位置づけや活動内容等について下記のとおりご説明させていただきます。今後とも引き続きより良いまちづくり組織としてのRCAに対し、ご理解ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

－ 記 －

1. RCAの位置づけについて

RCAは緑園のこの街が誕生した1987年4月に、自治会組織とは別に日本では初めて住民主体の「まちづくり組織」として設立されました。自治会が行政との窓口的位置づけで、住民相互のつながりに重点をおいていることに対して、RCAの活動は「快適で安全安心な住みよい街づくり」という緑園地域全体を視野に入れたまちづくりに重点を置いています。この緑園の住宅地全体を一つの共有財産としてとらえ、その価値の維持管理と向上に努める一種のまち全体の管理組合的組織と理解して頂けると分かりやすいと思います。

緑園各自治会とRCAの関係としては、RCAの理事は各丁目自治会役員から少なくとも1名選出されていることに加え、各自治会の班長さんはRCAの班長を兼ね、RCA総代会における議決権を有する総代の位置づけでもあること等、組織的にも密接な連携を前提として、設立当初より組織設計されております。各自治会においてもその会則上、RCAとの連携を謳った条文があるものと認識しております。

これらのことは、このまちができた当初より、各自治会とRCAが密接に連携し、相互の役割の中で、このまちをより良いものに継続的に推進してゆくことが基本的コンセプトとして息づいているものと理解しております。

2. RCAの活動内容について


緑園全体のまちづくり組織としてのRCAの具体的活動内容は、四季の径の整備、駅前や

各地区花壇整備・春秋の花の頒布会等の緑化推進、緑園クラブハウスの維持管理対応等まちの共有財産としての環境整備事業が主体であり、加えて子育て、青少年、シニア各団体活動の助成等も一部行っております。これらの活動はコロナ禍の中でも変わらず進めてきたものであります。このような通常活動以外に、新たな昨年度活動成果のトピックを以下ご紹介いたします。

(1) 第16回住まいのまちなみコンクールにて「住まいのまちなみ賞」受賞

(一財)住宅生産振興財団主催、国土交通省他後援の「第16回住まいのまちなみコンクール」に緑園地域をRCAとして応募し、このたび「住まいのまちなみ賞」を受賞しました。このコンクールは、地域の特性を活かし、魅力的な住まいのまちなみを育む維持管理、運営などの活動に実績を上げている住民組織をまちづくりのモデルとして、全国の5地域の団体に対して表彰、支援されるもので、緑園地域の受賞については日本経済新聞(2/20朝刊別冊)やタウンニュース等でも紹介され、該当団体のHPでは以下の紹介をされております。

今後この受賞を受け、具体的なまちづくりプランの策定と実行について検討・計画してまいります。

	住まいのまちなみ賞 団地名：横浜市泉区緑園地区(神奈川県横浜市) 団体名：緑園都市コミュニティ協会 戸建住宅地と分譲集合住宅団地と駅前商店街を有する大規模開発の中で、まちなみの骨格を形成する街路空間の維持管理を中心に、戸建だけでなくマンションも率先してまちなみづくりに参加するHOA (Home Owners Association) の仕組みが持続している
--	---

(2) 「緑園都市四季の径周辺緑化改善計画」& 「緑園花と緑の会」

横浜市環境創造局横浜みどりアップ推進課「地域緑のまちづくり事業」について、RCA全面支援のもと「緑園都市緑化推進クラブ」として申請した「緑園都市四季の径周辺緑化改善計画」がその選考を通過しました。さらに「緑園花と緑の会」を立ち上げ、その活動の皮切りに、まちの玄関である駅周辺の緑化推進を進めておりますが、この度この継続的活動を視野に相模鉄道と覚書を締結することができました。



(3) 郵便局前歩道改善

駅前活性化プロジェクトと称して上述の駅周辺の緑化推進の他に、フェリス女学院大学までの通学路となる郵便局前歩道の拡張について連合自治会と協力のもと横浜市に働きかけ、今年3月にその工事が完了しました。



以上